

**製品名: ATG7 ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe01663**

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 78 kDa; Observed MW: 78 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ATG7
別名	hAGP7; Ubiquitin-activating enzyme E1-like protein; APG7L
遺伝子 ID	10533
SwissProt ID	O95352
免疫原	ヒト Apg7 の合成ペプチド

## 背景

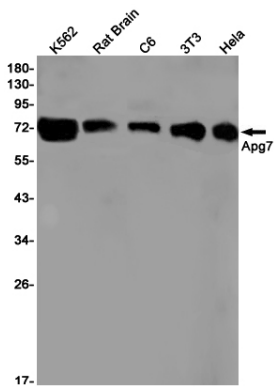
オートファジーの分子機構は主に酵母で発見され、オートファジー関連遺伝子（Atg）と呼ばれています。オートファゴソームの形成

には、ユビキチン様結合システムが関与しており、Atg12 は Atg5 に共有結合してオートファゴソーム小胞へと輸送されます。この結合反応は、ユビキチン E1 様酵素 Atg7 と E2 様酵素 Atg10 によって媒介されます。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



ATG7 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の Apg7 のウエスタンブロット分析。